

## 「骨髄異形成症候群 iPS 細胞を用いた治療標的分子探索」について

### (1) この研究の目的と意義について

吉田研究室では MDS-iPS 細胞より樹立した造血前駆細胞が分化障害などの MDS の病態を再現することを明らかにしました。

今回新たに開始する研究は、その MDS-iPS 細胞から造血前駆細胞の病態モデルを作製し、そこからどのような遺伝子発現の異常が起きているかを調べることにより MDS に対する新規治療のターゲットをみつけだすことを目的としています。

### (2) 研究の方法について

この研究は日本新薬株式会社との共同研究で実施されます。以前に上記の対象者に該当する MDS 患者さんから作製した MDS-iPS 細胞と健常者の方より作製した iPS 細胞を血液細胞に分化させます。そこから RNA を抽出し、RT-PCR 法という方法で遺伝子発現量を解析します。また、吉田研究室と並行して、抽出した RNA を共同研究先の日本新薬株式会社に提供し、遺伝子発現量の解析を行い、MDS-iPS 細胞由来血液細胞と健常者 iPS 由来血液細胞の遺伝子発現量の解析を行うことを予定しています。

研究期間 : 2018 年 3 月 22 日～2019 年 3 月 31 日

研究機関 : 京都大学 iPS 細胞研究所

研究責任者 : 未来生命科学開拓部門・准教授 吉田 善紀

共同研究機関 : 日本新薬株式会社

共同研究機関の研究責任者 : 創薬研究所探索研究部マネージャー・内藤 はるな

研究で利用する試料・情報等の項目	<試料> iPS 細胞 <情報> 性別、年齢、血液型、診療録
試料・情報の利用目的及び利用方法	当該研究を実施するため
試料・情報を利用する者の範囲	CiRA 吉田研究室及び日本新薬株式会社
提供する試料や情報等	<試料> iPS 細胞から分化細胞より抽出した RNA <情報> 上記 RNA の遺伝子発現データ
提供の方法	<試料>

	<p>試料の保存状態を維持するための専用容器に封入のうえ、追跡可能な輸送手段により提供先機関まで届けます。</p> <p>&lt;情報&gt; 印刷物は追跡可能な輸送手段で提供先機関に送付、電子データは適切な情報セキュリティを確保の上で提供先機関に送信します。</p>
提供先における試料・情報の管理責任者	<p>機関名: 日本新薬株式会社</p> <p>研究責任者: 内藤 はるな</p>

### (3) 個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

### (4) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

### (5) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象者に該当する方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

### (6) 連絡窓口

京都大学 iPS 細胞研究所 CiRA 倫理審査委員会事務局

電話番号: 075-366-7008

受付時間: 平日 10:00~17:00

Eメール: [ips-ethics@cira.kyoto-u.ac.jp](mailto:ips-ethics@cira.kyoto-u.ac.jp)

期 日: 2018年9月30日17時まで

以上